

057 | ねばりっこ

1 前提

該当する地域	中部砂丘畑
設定した経営規模	ねばりっこ80a、ながいも20a、らっきょう60a
自家労働	2人
その他	ながいも、ねばりっこは、長芋集荷場に出荷する。長芋集荷場の冷蔵庫で貯蔵して、周年にわたって市場出荷する。 成芋栽培時の種芋は頂芽3200本、子芋1200本ずつ使用 (参考：ムカゴ5円/粒、頂芽8円/本、子芋60円/本)

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目 (ムカゴ→種芋)						○	○	○					
2年目 (種芋→成芋)						◎	◎	◎					
3年目		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、▽トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f) × (G) × 利子率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,150,000	13	393,750	393,750	15	26,250	8	183,750	100	7,350
トラクタ	4WD 25ps	1 台	3,067,900	13	383,488	383,488	7	54,784	4	164,352	100	6,574
ロータリ	160cm	1 台	440,000	13	55,000	55,000	7	7,857	4	23,572	100	943
深耕機(トラクターアタッチ)	2条	1 台	1,881,550	20	376,310	376,310	7	53,759	4	161,276	100	6,451
管理機	3.7ps	1 台	248,600	20	49,720	49,720	7	7,103	4	21,309	100	852
運搬車型プロットキャスター	200L	1 台	344,300	13	43,038	43,038	7	6,148	4	18,445	100	738
管理機型土壤消毒機	YS-80	1 台	726,000	20	145,200	145,200	7	20,743	4	62,229	100	2,489
長芋植付機	NP-110	1 台	337,700	20	67,540	67,540	7	9,649	4	28,946	100	1,158
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	280,390	13	35,049	35,049	7	5,007	4	15,021	100	601
運搬車		1 台	361,900	20	72,380	72,380	7	10,340	4	31,020	100	1,241
掘り取り機(トンチャク)	チェーン式	1 台	1,500,000	20	300,000	300,000	7	42,857	4	128,571	100	5,143
軽トラック	660cc	1 台	1,200,000	13	150,000	150,000	4	37,500	2	75,000	100	3,000
合計			13,538,340		2,071,474	2,071,474		281,996		913,489		36,540

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ねばりっこ	ねばりっこ	露地	3800kg	砂丘地	80a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 人員		延労働 時 間
ワ ラ 入 れ	収穫後	稲ワラ	30ロール	手作業 トラクター ロータリー	○収穫後、深耕するまでに土壌改良のため稲ワラを施用する。	1.0	2 1	4.0 1.0	軽油 4.0
深 耕・耕 転	3/上～3/中			深耕機	○いもの伸長促進のため深耕する。	3.0	1	3.0	軽油 12.0
土 壌 消 毒	3/中～3/下	クロールピクリン	30ℓ	土壤消毒機	○土壤消毒は処理後すぐに被覆する。 (ポリマルチを反転させて処理)	1.0	1	2.0	ガソリン 2.0
		D-D	20ℓ	土壤消毒機		1.0	1	2.0	ガソリン 2.0
		ポリマルチ		管理機 手作業		1.0	1	2.0	ガソリン 2.0
基 肥 施 用	4/上～4/中	ミネラル宝素	60kg	ブロードキャスター	○ガス抜きを兼ねて基肥を全面施用。 ○ガス抜き耕耘は2回以上丁寧に行う。	1.0	1	1.0	ガソリン 1.0
		セルカフフレンド	100kg	ブロードキャスター		1.0	1	1.0	ガソリン 1.0
		I B S 1 号	40kg	ブロードキャスター		1.0	1	1.0	ガソリン 1.0
		ネトリエース粒剤	20kg	手作業 トラクター ロータリー		1.0	1	1.0	軽油 4.0
種選別・消毒	4/中	子芋	1200個		○子芋は消毒は行わない。 ○頂芽は選別後、消毒を行う。 ○ベルコート200倍とベンレートT100倍 液に10分間浸漬し、乾燥させる。		1	0.5	
		頂芽	3400本				1	1.5	
		ベルコートフロアブル	500ml				1	0.5	
		ベンレートT水和剤20	500g				1	0.5	
植 え 付 け	4/中～4/下			長芋植付機	○畦幅75～80cm、株間27～30cm、 10a 当たり4,600株、覆土10cm。	4.0	2	8.0	ガソリン 8.0
		フォース粒剤	4kg	手散布	○植え付け時にフォース粒剤、アトマイヤー1 粒剤を施用する。		1	0.5	
		アトマイヤー1粒剤	4kg	手散布			1	0.5	
支 柱 た て	4/中～5/上	支柱 P-Pロープ	3,350本 1.5巻		○支柱をたて、P-Pロープをはる。		2	16.0	
つ る 管 理	6～7				○つるが支柱とひもに巻き付くように 誘引する。		1	12.0	
灌 水					○萌芽安定のため、乾燥しないよう灌 水。降雨時には灌水を控える。 ○夏期の乾燥時には積極的に灌水する				
追 肥	5/中～8/下	I B S 1 号	30kg	手散布	○5月中旬に芽出し肥を施用し、6月上 旬から9回に分けて追肥を行う。 ○追肥は8月下旬で終了する。		1	1.0	
		有機入り化成S030	140kg	手散布			1	8.0	
		燐加安F886号	80kg	手散布			1	5.0	
防 除	6/上～8/下	7回防除		動力噴霧機 軽トラック	○発生予察にもとづき、早期防除の徹 底を図る。 ○梅雨明け後の病害虫の発生に注意し 茎葉の維持に努める。	14.0	2	28.0	ガソリン 28.0
片 付 け	10/中～11/中				○支柱を抜き取り、ムカゴと茎葉を回収 する。子芋養成用のムカゴは作業場で 保管する。		2	30.0	
取 穫	10/下～2/下	出荷用黒マルチ	200枚	掘り取り機	○計画的に収穫し、長芋集荷場に出荷する ○頂芽を切断し保管する。 ○出芽するまでに子芋を収穫する。 ○目標は200コンテナ/10a	48.0	1	48.0	ガソリン 48.0
				運搬車		10.0	1	10.0	ガソリン 10.0
後片づけ	2/下			トラクター ロータリー	○耕耘し、ワラを入れやすくする。	1.0	1	1.0	軽油 4.0
合 計								202.0	

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ねばりっこ	ねばりっこ (子芋養成)	露地	50000本	砂丘地	

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					燃 料 消費量 (ℓ/10a)		
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間					
						機械利 用時間	組 員	延労働 時 間			
ワ ラ 入 れ	収穫後	稲ワラ	30ロール	手作業 トラクター ロータリー		1.0	2	4.0	軽油 4.0		
深 耕・耕 転	3/上～3/中			深耕機		3.0	1	3.0	軽油 12.0		
土 壌 消 毒	3/中～3/下	クロールピクリン D-D ポリマルチ	30ℓ ₂ 20ℓ ₂	土壤消毒機	ワラ入れ～基肥施用まで 成芋栽培と同様	1.0	1	2.0	ガソリン 2.0		
				土壤消毒機		1.0	1	2.0	ガソリン 2.0		
				管理機		1.0	1	2.0	ガソリン 2.0		
基 肥 施 用	4/上～4/中	ミネラル宝素 セルカフレンド I B S 1 号 ネトリエース粒剤	60kg 100kg 40kg 20kg	プロトキスター		1.0	1	1.0	ガソリン 1.0		
				プロトキスター		1.0	1	1.0	ガソリン 1.0		
				プロトキスター		1.0	1	1.0	ガソリン 1.0		
				手作業		1	1	1.0			
ムカゴ選別	4/中	ムカゴ	62500粒		○出芽していないむかごは除去。 ○消毒は行わない。		2	10.0			
植 え 付 け	4/下	フォース粒剤 アトマイヤー1粒剤	4kg 4kg	手散布	○畦幅75～80cm、500粒/m目安。 10a 当たり62500粒、覆土10cm。 ○植え付け時にフォース粒剤、アトマイヤー1 粒剤を施用する。		2	16.0			
				手散布						1	0.5
支 柱 た て	5/上	支柱 P-Pロープ	6700本 1.5巻		○2倍の支柱をたて、P-Pロープをはる。		2	16.0			
追 肥	5/中～8/下	I B S 1 号 有機入り化成S030 燐加安F886号	30kg 140kg 80kg	手散布	栽培管理も成芋栽培と同様		1	1.0			
				手散布						1	8.0
				手散布						1	5.0
防 除	6/上～8/下	7回防除		動力噴霧機 軽トラック		14.0	2	28.0	ガソリン 28.0		
片付け	11/中				○支柱を抜き取る。		2	2.0			
収 穫	11/下～2/下			手作業	○出芽するまでに子芋を収穫する。 ○砂を払い、作業場等で保管する。		2	48.0			
後片づけ	2/下			トラクター ロータリー	○耕耘し、ワラを入れやすくする。	1.0	1	1.0	軽油 4.0		
合 計											

子芋養成にかかる経費

10a 当たり 50000 本

	金額	備考
生産原価	495,538	成芋栽培と同様
諸材料費	39,865	支柱2倍分
農薬費	-699	種芋消毒不要
合計	534,704	
子芋1本当たり	10.7	

成芋10a栽培に必要な子芋は1200本

10a 当たり 50000 本

→子芋1200本に必要な面積：0.24a
→子芋1200本に必要な経費：13,674円

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,497,200	生産量① : 3,800 kg 単価② : 394 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :	
	主産物価額	0	生産量 : 単価 :	
	副産物価額④	0	生産量 : 単価 :	
	計 (A)	1,497,200		
生産	種 苗 費	12,833	子芋養成費 (10a当たり子芋1200本) ※頂芽3200本、子芋1200本	
	肥 料 費	90,426	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	124,369	"	
	諸 材 料 費	60,271	"	
	動力光熱費	27,278		
	農 具 費	33,855	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	1,969	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	0		
	雇 用 労 賃	5,198		
	減価償却費⑤	140,998	別表のとおり	
	土地改良費	6,938		
	支払地代⑥	4,238		
	小計 (B)	508,371		
	費	販売費一般	出荷資材費	76,000
管理費		販 売 諸 費	552,262	
		諸税負担金	7,619	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,530	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	0	借入資本利率2%
		小計 (C)	639,411	
経 営 費 (D)	1,147,782	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	265,720	農 従 労 働 時 間 : 196.3 生産管理労働時間 8.1 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,413,502	主産物単位当たり 372 円/kg 注 (E) = (D) +⑧-④		
自己資本	流動資本利子⑨	25,450	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
利子(F)	固定資本利子	18,270	利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	7,063			
全算入生産費 (H)	1,464,284	生産物単位当たり 385 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	349,418	時間当たり 1,709 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	23	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	32,916	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	298,636	時間当たり 1,461 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	83,698	注) (M) = (I) - ⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
ワラ入れ						2.5	2.5																																	5.0
深耕							1.5	1.5																																3.0
土壌消毒								9.0	9.0																															18.0
基肥施用										2.5	2.5																													5.0
種選別・消毒												3.0																												3.0
植え付け												4.5	4.5																											9.0
支柱立て												8.0	4.0	4.0																									16.0	
つる管理													2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																						12.0
追肥													1.0		1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0																14.0
防除															4.0	4.0		4.0	4.0	4.0		4.0	4.0																28.0	
片付け																											7.5	7.5	7.5	7.5										30.0
収穫	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0																						7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	3.0	3.0				58.0		
後片づけ						1.0																																	1.0	
計	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	6.5	4.0	10.5	9.0	2.5	18.0	8.5	4.0	3.0	2.0	7.0	7.0	3.0	8.0	6.0	6.0	2.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	14.5	14.5	14.5	7.0	6.0	3.0	3.0	202.0	

生産管理労働時間

(8.1)